

## 令和5年度 会長挨拶



東山国男会長

あけましておめでとうございます。

昨年も新型コロナウイルスの影響で青森県障害者スポーツ大会、研修会等、様々な行事が中止となりました。皆様の日常生活にも不便を感じていることと思います。県身協は対策をして、事業を開催できるよう努力して参ります。

私達、福祉団体は障害の有無に関係なく共生社会を目指して活動していかなければなりません。外見では障害があるかわからない方が適切な配慮や援助を得やすいようにヘルプマークやヘルプカード配布が行われております。ハードソフト両面に関してのバリアフリー環境が改善されてきていると思いますが、まだまだ十分とはいえない状況にあります。私たち、障害者は日常生活において様々な課題に直面します。災害時を含め課題解決に関係者と緊密に連携していく必要があります。

2026年には全国障害者スポーツ大会が青森県で開催される予定となっています。大会に向けての準備は始まっています。準備委員会には私も参加しています。大会に参加するすべての人が安全で快適に大会を楽しむことができる会場づくりを目指し意見交換をしています。県はスポーツ活動とおし交流、健康づくり等、豊かなスポーツライフの実現に取り組んでいます。当協会も皆様のスポーツライフを様々な事業により応援していきます。

県身協は会員が減り、組織強化をどのように対策を進めるか、市町村、関係団体と連携し組織強化を目指します。

終わりに会員の皆様、関係団体の皆様の健康と活躍をご祈念申し上げ新年の挨拶といたします。

## 山田金治さん(大鰐町身体障害者福祉協会会長)厚生労働大臣賞受賞

自らの障害を克服し、自立更生して他の模範となつてこられた功績が認められ、第71回障害者自立更生等厚生労働大臣表彰を受賞されました。

山田さんは、農業で生計を立て、大鰐町身体障害者福祉会の役員、会長として長年にわたり会の運営や会員の増強に尽力し会の発展に寄与してきました。

また、当協会会長を平成27年5月から令和3年3月まで務め、青森県の身体障害者福祉のリーダーとして活躍されました。



## 令和4年度 青森県身体障害者福祉大会つがる大会

令和4年度青森県身体障害者福祉大会はつがる市で開催予定でしたが新型コロナウイルス感染者数が減少しなかったため来年度へ延期といたしました。今年度の大会は中止となり表彰式は行えませんでした。益々のご活躍をお祈り申し上げます。

更生援護功労者：田澤節子様（西目屋村）、中村忠充様（田子町）、原ヨシエ様（田子町）

ボランティア功労者：川村ミツヨ（田子町）

来年度は、つがる市での開催予定です。開催日付は未定ですが決まりましたら、お知らせいたしますので、よろしく願いいたします。

## 皆さんに感謝です。津軽塗一筋、黄綬褒章受章

私は、令和3年秋の褒章で黄綬褒章を受章させていただいた「野呂信夫」です。

最初、受章の連絡を聞いた時は、言葉が出てきませんでした。

その後、新聞やテレビに自分の名前が出た時に、徐々に実感がわいてきました。同時に、津軽塗の仕事一筋にやって来て本当に良かったと心から思っています。

私が独立したのは、師匠が昭和57年に亡くなったため、翌年3月に独立しまして、現在も継続しています。造った品物を「素晴らしい」とか「すごくいいですね」と言われた時は、職人として本当に自分の仕事を誇らしく思います。私の仕事は、何十年経ってもまだまだ死ぬまで勉強だと思いながら頑張っています。

そして、この受章は私一人の力ではもらえないものではありません。県身協の皆さん、青森市身体障害者福祉会の皆さん、周りの皆さんの協力があったからこそいただけた褒章だと思っています。私は、本当に心から皆さんに感謝しております。ありがとうございます。これからも仕事、福祉活動に頑張っていきますので、これからも皆さんよろしく願います。そして祝福の言葉をいただいた多くの皆さん、本当にありがとうございました。

※ 黄綬褒章とは、身体障害者であってよくその障害を克服し、社会生活を継続して営んでる者（自立更生）に授与されます。

### 令和3年秋の勲章及び褒章伝達式



障害者のための何でも相談  
**障害者110番**

＝受付時間＝  
火曜・祝日・年末年始を除く毎日  
10:00～16:00

TEL:017-764-2941  
FAX:017-764-2942

ふくいちばん

### JRジパング倶楽部特別会員制度

- 入会資格…身体障害者手帳を受けている方。  
男性60歳以上、女性55歳以上の方。
- 年会費…1,400円

**201km以上の  
JRの特急券等割引**

お申し込み・お問い合わせは  
県身協事務局、または地元福祉会まで



## 第22回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」

第22回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」が、「夢を感動へ。感動を未来へ。」のスローガンのもと、令和4年10月29日～31日の3日間、カンセキとちぎスタジアム（栃木県総合運動公園陸上競技場）を中心に開催されました。

青森県選手団は、個人競技に選手26名、団体競技に選手18名、役員31名、計75名が参加しました。

10月27日、新青森駅にて出発式を行い新幹線で栃木県へと向かいました。

10月29日に行われた開会式では阿部弘子団長（県手をつなぐ育成会理事長）と旗手の奥崎竜世選手を先頭に17名が入場行進をしました。新型コロナウイルス感染対策として、今大会の開会式では、青森県選手団は陸上競技のみ開会式に参加しました。

大会期間は天候に恵まれ、選手の皆さんは全力で競技に挑み、金10個、銀4個、銅6個の合計20個のメダルを獲得しました。

当協会からも卓球競技に松橋久志選手（つがる市）、フライングディスク競技に百鳥正直選手（八戸市）、ボッチャ競技に寺山輝昭選手（青森市）が出場し、大いに健闘しました。

なお、次大会は令和5年10月28日～30日に鹿児島県で開催予定です。



百鳥選手（八戸市）



松橋選手（右）（つがる市）



寺山選手（青森市）



青森県選手団

## 第2回県身協会長杯ボッチャ大会開催

令和4年度身体障害者スポーツ振興基金運営事業として、令和4年7月3日に第2回県身協会長杯ボッチャ大会をねむのき会館体育館にて開催しました。

県身協会長杯ボッチャ大会は参加対象を県身協加盟団体のみとし、各団体の活動活発化と新規会員獲得、さらに各団体同士の交流の機会となることを期待し開催しています。

今大会も申込上限の12チームがご参加くださいました。試合は、3対3のチーム戦を行い、勝利を掴み取るべく一投に集中する方、試合を有利に進めるためチームで話し合う様子が見受けられ、ボッチャのゲーム性を理解して楽しんでいる方が増えていることを感じました。成績は次のとおりです。（敬称略）

### 【第2回県身協会長杯ボッチャ大会 成績】

優勝：七戸A（七戸町身体障害者福祉会 桃林輝昭・森田洋子・赤沼正雄）

準優勝：七戸B（七戸町身体障害者福祉会 沢尻政司・天間竜一・疋勝悦）

第3位：エイト2（八戸市身体障害者団体連合会 荒谷勇夫・西久保賀庸・東山国男）



優勝：七戸A（左から桃林、赤沼、森田）

ご参加いただきましたチームの皆様には、新型コロナウイルス感染対策へのご協力もいただきました。この場をお借りしてお礼申し上げます。次回のボッチャ大会にも、たくさんのご参加をお待ちしております。

(単位:円)

**令和3年度  
一般会計  
(県身協法人会計)  
収支決算書**

自 令和3年4月1日  
至 令和4年3月31日

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
1 事業活動収入				
(1) 会費収入	2,077,000	1,936,651	140,349	4団体未納、1団体一部未納
(2) 補助金収入	0	0	0	
(3) 委託金収入	1,713,500	1,713,500	0	身体障害者相談員強化事業費・障害者差別解消推進事業費
(4) 配分金等収入	240,000	240,000	0	共同募金
(5) 寄付金収入	245,000	277,248	▲ 32,248	日身連収益事業、青森県遊技業共同組合
(6) 財産収入	500	27	473	基本財産利息、運用財産利息
(7) 受取手数料収入	200,000	97,691	102,309	駐車禁止・ジパング倶楽部
(8) 雑収入	80,000	18,658	61,342	印刷機使用料 普通預金等利息
(9) 福祉創成基金繰入	1,000,000	1,000,000	0	
(10) 身障スポーツ基金繰入	1,558,000	1,558,000	0	
(11) 退職積立金繰入	0	0	0	
当期収入合計	7,114,000	6,841,775		
収入合計(A)	7,114,000	6,841,775	272,225	
2 事業活動支出				
(1) 運営費支出	2,076,000	1,043,797	1,032,203	
会議費	300,000	188,205	111,795	
人件費	800,000	0	800,000	
事務費	397,000	310,500	86,500	
旅費	137,000	56,350	80,650	
需用費	50,000	79,688	▲ 29,688	
役務費	200,000	174,462	25,538	
車両費	10,000	0	10,000	
退職金	0	0	0	
諸支出金	579,000	545,092	33,908	
退職金繰出金	400,000	400,092	▲ 92	ねむのき会計へ400,000円、利息分92円は積立金
負担金ほか	179,000	145,000	34,000	日身連・県社協会費
(2) 事業費支出	4,935,500	2,886,770	2,048,730	
①一般事業	3,222,000	1,173,270	2,048,730	
県身障福祉大会費	300,000	20,570	279,430	
青年部会対策費	20,000	20,000	0	
広報費	300,000	122,953	177,047	
全国会議等派遣費	200,000	0	200,000	
6地域福祉協議会	200,000	200,000	0	
市町村活動費	104,000	103,506	494	
地域福祉リーダー等研修会費(役員等研修会費)	30,000	0	30,000	( )は旧事業名
ねむのき祭り開催事業費	70,000	0	70,000	
障害者社会参加促進事業(法人機能強化事業)	200,000	1,000	199,000	( )は旧事業名
地域福祉支援事業(組織強化事業)	100,000	1,000	99,000	( )は旧事業名
障害者福祉研修事業(公益目的事業)	90,000	0	90,000	( )は旧事業名
障害者防災対応費(東日本大震災対策事業)	10,000	0	10,000	( )は旧事業名
身障スポーツ基金運用事業	1,798,000	705,241	1,092,759	
②補助事業	0	0	0	
全スポ大会等派遣事業	0	0	0	
③委託事業	1,713,500	1,713,500	0	
身体障害者相談員強化事業費	322,000	322,000	0	25年度より受託、内34,440円県に返金
障害者差別解消推進事業費	1,391,500	1,391,500	0	28年度より受託、内159,145円県に返金
(3) 予備費支出	102,500	0	102,500	
その他慶弔費等	102,500	0	102,500	
(4) 基金戻入支出	0	2,095,545	▲ 2,095,545	
福祉創成基金戻入	0	999,010	▲ 999,010	人件費・障害者社会参加促進事業 利息10円
身障スポーツ振興基金戻入	0	1,096,535	▲ 1,096,535	スポーツ振興基金 利息3,776円
支出合計(B)	7,114,000	6,026,112	1,087,888	
当期収支差額(A)-(B)	0	815,663		
前期繰越収支差額		3,980,975		
次期繰越収支差額		4,796,638		

※収入の部の差異の▲印は収入増を示し、支出の部の差異の▲印は支出増を示す。予算額は現計予算(補正後予算)を示す。

(単位:円)

**令和4年度  
一般会計  
(県身協法人会計)  
予算書**

自 令和4年4月1日  
至 令和5年3月31日

科 目	予 算 額	前年度予算額	比較増減	備 考
1 会費収入	2,077,000	2,077,000	0	
2 補助金	16,181,000	0	16,181,000	県補助金
1 全国障害者スポーツ大会等派遣事業費	16,181,000	0	16,181,000	全スポ ブロック大会・本大会(栃木)他
3 委託料	1,714,500	1,713,500	1,000	県委託金
1 身体障害者相談員強化事業費	323,000	322,000	1,000	
2 障害者差別解消推進事業費	1,391,500	1,391,500	0	
4 配分金	0	240,000	▲ 240,000	共同募金配分金
5 寄付金	264,000	245,000	19,000	日身連東北事業所
6 財産収入	500	500	0	基本財産・運用財産利息
7 手数料	200,000	200,000	0	駐車禁止除外車両標章ジパング倶楽部
8 雑収入	80,000	80,000	0	印刷機使用料普通預金利息
9 福祉事業創成基金繰入収入	1,000,000	1,000,000	0	
10 障害者スポーツ振興基金繰入収入	3,713,000	1,558,000	2,155,000	クラブ助成 全スポ派遣事業等 競技役員等養成事業
合 計	25,230,000	7,114,000	18,116,000	